施設名	三石煉瓦拱渠群
所在地	岡山県 備前市
管理者等	
施設種類•分野	橋
施設概要 (明治期との関 連含む)	現在のJR山陽本線の前身、旧山陽鉄道が開通した明治23 年に現在の下り線側が、そして複線化に伴って明治44 年に現在の上り線側が敷設されました。下り線側はオーソドックスな赤レンガが、上り線側は焼過煉瓦と呼ばれる濃色の煉瓦が使用されています。一般的には、明治後期に焼過煉瓦が赤煉瓦に取って代わられるのですが、三石の拱渠では後年に築かれた方に焼過煉瓦が使われています。また、同じアーチ橋で建設年代が異なる煉瓦の接合部に継ぎ目の跡が見られます。(文献1より抜粋)
築造時期	明治後期 時期詳細 明治23~24年(下り線)、明治44年 (上り線)
関連人物	-
関連企業	-
トピックス (特徴的エピ ソード)	三石に点在する煉瓦拱渠で最大規模のものが、金剛川を跨ぐ4連アーチの拱渠です。中央2連を金剛川が流れ、第1 径間が道路、第4 は水路と生活道になっています。金剛川拱渠は煉瓦を基本にして坑門・側壁をイギリス積み、アーチ部分を長手積みで巻く一般的な構造ですが、他の線区にはあまり見られない三石の拱渠独自の特徴があります。(文献1より抜粋)
歴史的な遺産 等の指定の有 無等	O 選奨土 木遺産 (土木学 会) O 文化財 (文化 庁) - 近代化 産業遺 産(経産 省) 世界遺 産(ユネ スコ)
その他 (関連資料、文 献)	文献1:中国建設弘済会アーカイブス (http://www.ccba.or.jp/archives/pdf/42.mitsuishirenga.pdf) 文献2:土木学会 選奨土木遺産解説シート (http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/141) 文献3:土木学会 中国地方の選奨土木遺産(改訂版)
管理者等のHP (URL等)	岡山県 http://www.civil.pref.okayama.jp/hyakusen/spot/spot021.html